

## 令和5年度外部評価会議出席予定者一覧

### 1. 外部評価委員

No.	所属団体等	役職	氏名
1	一関地方校長会	一関小学校 校長	菅原 正樹
2	一関市PTA連合会	一関市PTA連合会 会長	河合 純子
3	岩手県高等学校長協会一関支会	花泉高等学校 校長	橋本 ゆかり
4	ジョブカフェ一関	センター長	金野 馨
5	一関市社会教育委員	一関市社会教育委員	千葉 喜代一
6	一関市立図書館協議会	一関市立図書館協議会委員	藤野 裕
7	一関市文化財調査委員	一関市文化財調査委員	西 幸子
8	一関市博物館協議会	一関市博物館協議会委員	松岡 千賀子

※敬称略

### 2. 事務局

No.	所属等	氏名
1	教育委員会	教育長 小菅 正晴
2	まちづくり推進部	まちづくり推進部長 小野 寺愛人
3	〃	いきがづくり課長 伊藤 信子
4	教育委員会事務局教育部	教育部長 及川 和也
5	〃	一関図書館長 藤倉 忠光
6	〃	教育部次長兼学校教育課長 八木 浩司
7	〃	教育総務課長 遠藤 実
8	〃	文化財課長兼骨寺荘園室長 氏家 克典
9	〃	一関市博物館次長 佐々木 修路
10	〃	教育総務課長補佐兼教育企画係長 千葉 邦雄
11	〃	教育総務課主事 佐藤 尚哉

令和4年度目標値達成状況（一関市総合計画に掲載の指標）

指標項目	単位	R1	R4 実績	R7 最終目標	目標の設定
全国学力、学習状況調査の小学校算数の正答率(全国平均を100としたときの割合)【学校教育課】	%/年	97.6	95.2	100.0	全国平均を目指す
全国学力、学習状況調査の中学校数学の正答率(全国平均を100としたときの割合)【学校教育課】	%/年	91.9	90.2	100.0	全国平均を目指す
ICT活用を児童へ指導できる教員の割合【小学校】	%/年	67.0	76.7	80.0	80.0%/年を目指す (GIGA スクール構想)
ICT活用を児童へ指導できる教員の割合【中学校】	%/年	61.4	61.1	80.0	80.0%/年を目指す (GIGA スクール構想)
市民センターにおける社会教育主事の資格取得者数	人	0	0	18	毎年3人の増を目指す
1人当たりの市民センターの生涯学習活動参加回数【いきがづくり課】	回/年	2.2	1.7	2.2	感染症の影響を踏まえ、現状数値の維持を目指す
図書館利用登録者の人口に占める割合【図書館】	%	49.6	57.5	55.0	5.4ポイントの増を目指す(一関市立図書館振興計画)
博物館入館者数【博物館】	人/年	13,970	13,442	13,970	感染症の影響を踏まえ、現状数値の維持を目指す
博物館講座、体験学習参加者数	人/年	3,820	3,374	4,000	おおむね5%の増を目指す
文化財標柱、解説板の設置数【文化財課】	基	170	197	230	毎年10基の整備を目指す
民俗芸能を行う団体数【文化財課】	団体	57	60	57	現状数値の維持を目指す
小区画水田を活用した体験交流会への参加者数【骨寺荘園室】	人/年	329	245	390	おおむね20%の増を目指す
土水路整備作業への参加者数	人/年	307	312	320	おおむね5%の増を目指す
骨寺村荘園交流施設利用者数【骨寺荘園室】	人/年	27,638	28,108	29,000	おおむね5%の増を目指す

## 主な事務事業の評価について

### 1 対象とする事務事業

#### 施策の基本方向

- 社会を生き抜く力を育む学校教育の充実・・・No. 1～No. 23
- とともに学び、まちとひとをつくる社会教育の推進・・・No. 24～No. 34
- 誇りと愛着を醸成する文化の継承・・・No. 35～No. 39

### 2 事務の執行体制・・・・・・・・・・No. 1

#### 評価基準

##### 【事業の成果】

評 価	評価基準
A	事業の十分な成果が見られた
B	事業の成果が見られた
C	事業の成果があまり見られなかった
D	事業の成果が見られなかった

##### 【事業の方向性】

評 価	評価基準
拡 充	内容を拡充して取り組む
継 続	継続して取り組む
見直し	内容の見直しを図っていく
廃 止	廃止を検討する

令和4年度 主な事務事業の個別評価

事務事業名【 No.30 子どもの読書推進事業 】		図書館											
実施目的 (PLAN)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立図書館と家庭、学校図書館の連携により、子どもが読書に親しむ環境を構築する。</li> </ul>												
主な活動 (DO)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児向け(9・10か月児、1歳6か月児、2～6歳児)ブックリスト、小学生向け(低学年・中学年・高学年用)ブックリスト、中高生向けブックリストを作成、配布</li> <li>・各図書館を会場としたボランティア及び職員による「おはなし会」の開催</li> <li>・各学校や保育施設を訪問しての「おはなし会」やブックトークの開催</li> <li>・継続して学校の読書普及員を受け入れ、本の選定の指導助言などを通じて市立図書館と学校との連携を推進</li> </ul>												
評価 (CHECK)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全館においてブックリストの配布を行い、中央館ではブックリストに掲載している本を中心に年齢別におすすめ本コーナーを設置するなど、子どもたちの読書意欲を高めた。</li> <li>・主な実績 (おはなし会の開催回数と参加者数)</li> </ul> <table border="1" data-bbox="986 752 1409 875"> <tr> <td>R 2 実績</td> <td>425 回</td> <td>6,786 人</td> </tr> <tr> <td>R 3 実績</td> <td>450 回</td> <td>7,116 人</td> </tr> <tr> <td>R 4 実績</td> <td>383 回</td> <td>5,271 人</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>感染拡大防止のため、健康診断時のお話し会の休止による減。</li> </ul>				R 2 実績	425 回	6,786 人	R 3 実績	450 回	7,116 人	R 4 実績	383 回	5,271 人
	R 2 実績	425 回	6,786 人										
R 3 実績	450 回	7,116 人											
R 4 実績	383 回	5,271 人											
	自己評価	事業の成果	B	事業の方向性 継続									
今後の取組 (ACTION)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限り乳幼児期から青年期の子どもへ継続したお話し会や、お勧め本のブックリストなどを活用し、本に対する興味を高めて読書に繋がる働きかけをしていく。</li> <li>・学校図書館担当者、読書普及員と連携し、学校図書館を支援していく。</li> </ul>												

実施目的 (PLAN)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・だれでも読書を楽しむことができるよう図書館サービスを向上させる。</li> </ul>																			
主な活動 (DO)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住所制限や貸出数制限を設けず、利用者の読書意欲に広く対応</li> <li>・BM(移動図書館車)等による地域に出向いての個人貸出や団体貸出の実施</li> <li>・病気や障がい等で図書館への来館ができない利用者への郵送貸出サービスの実施</li> <li>・マルチメディアデイジー（活字による読書に困難のある方にも利用しやすい資料 108 点）の収集貸出</li> <li>・スマートフォン等に利用者カードを表示できる「デジタル利用券サービス」とインターネット上に自分のブックリストを作成することができる「読書推進サービス」の周知を継続</li> </ul>																			
評価 (CHECK)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館情報システムの活用や移動図書館車の運行などにより、市民の読書意欲に幅広く対応した。</li> <li>・点字資料やマルチメディアデイジー資料などの収集により、障がいを持つ方への図書館サービスの向上が図られた。</li> <li>・主な実績（人口 1 人当たり年間貸出点数）</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 25%;">人口 1 人当たり 年間貸出点数</th> <th style="width: 25%;">年間貸出総点数</th> <th style="width: 35%;">各年度末人口</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 2 実績</td> <td>6.5 点</td> <td>732,310 点</td> <td>112,639 人</td> </tr> <tr> <td>R 3 実績</td> <td>6.9 点</td> <td>768,922 点</td> <td>110,679 人</td> </tr> <tr> <td>R 4 実績</td> <td>6.8 点</td> <td>736,965 点</td> <td>108,587 人</td> </tr> </tbody> </table>					人口 1 人当たり 年間貸出点数	年間貸出総点数	各年度末人口	R 2 実績	6.5 点	732,310 点	112,639 人	R 3 実績	6.9 点	768,922 点	110,679 人	R 4 実績	6.8 点	736,965 点	108,587 人
	人口 1 人当たり 年間貸出点数	年間貸出総点数	各年度末人口																	
R 2 実績	6.5 点	732,310 点	112,639 人																	
R 3 実績	6.9 点	768,922 点	110,679 人																	
R 4 実績	6.8 点	736,965 点	108,587 人																	
	自己評価	事業の成果	B	事業の方向性	継続															
今後の取組 (ACTION)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子図書館サービスや、大活字本やリライト資料(わかりやすい表現にした本)、録音図書などのさらなる活用をしていく。</li> <li>・郵送貸出サービス及びマルチメディアデイジー資料の活用を広く市民へ周知していく。</li> <li>・高齢者へのサービスや多文化対応サービスなどの図書館サービスの種類について引き続き検討し、可能な限り実施していく。</li> <li>・これまで 3 地域の運行だった BM を全域に拡大する検討をしていく。</li> </ul>																			